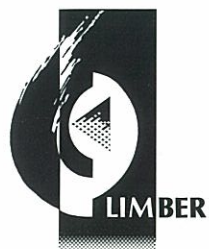


紋枯・主要害虫は箱で断つ！



水稻の紋枯病と主要害虫防除剤

ブラスリッパ[®] 箱粒剤



育苗箱専用

[®]:は登録商標



紋枯病

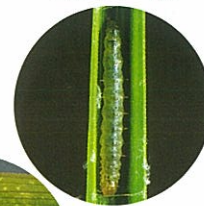
イネミズゾウムシ



トビイロウンカ



コブノメイガ



イネドロオイムシ



ニカメイチュウ

特長

■箱処理で水稻の紋枯病と主要害虫に優れた効果を発揮します。

水稻二大病害の一つである紋枯病と水稻主要害虫である、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、ニカメイチュウ、コブノメイガに高い防除効果を示します。

■育苗箱処理で長期間効果が持続し、省力的な防除が可能です。

プリンスリンバーも育苗箱処理で長期間効果が持続しますので、省力的な防除が可能です。

■周辺環境にやさしい薬剤です。

育苗箱処理という処理方法のため、周辺環境への負荷が少ない環境にやさしい薬剤です。

【適用病害虫と使用方法】

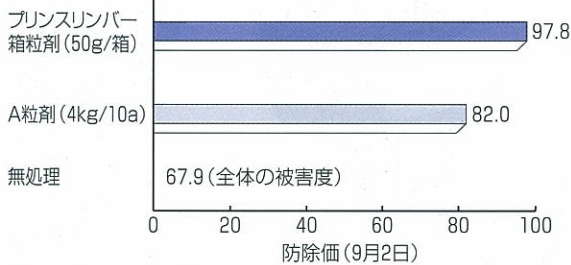
使い方：育苗箱施用

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*
稲 (箱育苗)	紋枯病 ウンカ類 コブノメイガ ニカメイチュウ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前 ～当日	本剤 1回 フィプロニル 1回 フラメトピル 2回 (育苗箱散布は1回)

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

■紋枯病

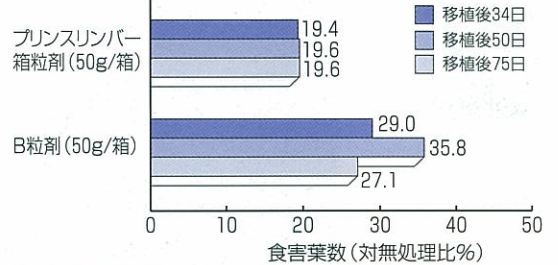
鳥取県農業試験場(1996年)



品 種：コシヒカリ
移 植：5月25日
出 穂：9月7日
発生状況：甚発生
処 理：プリンスリンバー箱粒剤:5月25日(移植当日)
A 粒 剤:7月17日

■コブノメイガ

日植防(協力:愛媛農試, 1997年)



品 種：ひめのまい
移 植：6月19日
発生状況：少発生
処 理：6月19日(移植当日)

■プリンスリンバー箱粒剤を正しく、安全にご使用いただくために。

箱当り50gを均一に。

育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水したのち田植機にかけて移植してください。

本田では使用禁止。

プリンスリンバー箱粒剤は育苗箱施用専用剤です。本田では使用できません。

健苗に使用。

軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがありますので、注意してください。

移植後の田面露出に注意。

本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので代かきは丁寧に行い、移植後田面を露出させないでください。

水産動物、特に「エビ類」に注意。

プリンスリンバー箱粒剤を使用した圃場の田面水は絶対に水産動物の養殖には使用せず、養魚田、養殖池等には田面水が流れ込まないようにしてください。特に「エビ類」の養殖の場合には十分注意してください。「エビ類」の養殖地帯付近では使用しないでください。

散布場所などに注意。

散布の際は、散布粒が側溝や用水路等に落ちないように処理場所に注意してください。灌水等のためプリンスリンバー箱粒剤を処理した育苗箱を用水路等に浸漬しないでください。使用済みの袋は畦畔等に放置したり用水路等に捨てる等せず、適切に処理してください。

保護具着用。

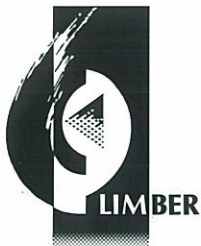
散布の際は手袋等保護具を着用してください。

ツマグロヨコバイには効果が劣ります。

ツマグロヨコバイに対しては効果が劣りますので、萎縮病・黄萎病の罹病率が高い地区では十分な注意が必要です。

使用上の注意を守る。

使用量、使用時期、使用方法を厳守し、危被害防止に万全を期してください。特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。



●ラベルをよく読む。●記載以外には使用しない。●小児の手の届く所には置かない。

●空袋は圃場等に放置せず適切に処理する。